

はじめに

佐倉三田会も昨年創立総会を実施し準備段階をいれると既に三年有余の歳月を経ました。ヒョんな事(声が大きく、背が高くて目立つ)から会長に選ばれましたが、会長自身は何もせず、もっぱら有能な幹事諸氏に運営をお任せしております。しかし今までは総会以外には印旛沼の花火にほんの少し参加する事は特に何もなく過ぎて参りました。幸い今年の秋には同じ塾員のダークダックスによるイベントも実施されることになり、これで佐倉三田会も名実ともに一人前になったのだな一と思っております。会員は約100名ですが、佐倉在住ながら未だに佐倉三田会に加入しておられない塾員の方々もおられます。この様な方々が一人でも多くこの三田会に参加されるとともに、佐倉三田会の益々の発展を祈念するものであります。 会長 笹島 穰

設立準備会

佐倉市には慶応出身の塾員の方が500名以上住んでおられます。佐倉市にも「三田会」を作ろう、あってしかるべきのご意見から三田会設立の準備がすすめられました。500名の塾員にご案内しご意見を伺ったところ、佐倉三田会設立に多数ご賛同いただき、三田会設立準備会を開催しました。

日時 2000年7月9日(日) 4:00~

場所 ウィシュトンホテル・ユウカリ

参加 76名

一部 準備会メンバーより今までの経過説明、今後のスケジュール、設立の為の懸案事項等のお話がありました。二部 加藤桂樹様(昭和15年経済卒)の乾杯のご発声により 和やかなムードの中懇親会が開かれました。年代毎にテーブルを配置し、参加者全員に自己紹介いただきました。そして高橋保夫様のリードで塾員が円陣を組み「若き血」の大合唱で幕を閉じました。

会計監査 岩淵 明弘

忘年会

佐倉三田会初の「忘年会」を昨年11月22日(木)王子台の「蝶や」で開催いたしました。平日で初めての試みということもあり、勝手ですがご案内を一部の方々に限らせて頂きました。しかしさすがに塾員です。当日は幹事の予想を上回り、笹島会長を筆頭に23名の元気なお姿に接する事が出来、安堵いたしました。またご病気にも拘わらず奥様と参加された味村辰彦氏(39年卒)には一同嬉しい思いで一杯でした。

皆で会席料理を味わいながら、近況報告や自己紹介などで雰囲気も和らぎ、旧懐に浸る事ができました。また話題もゴルフや囲碁の同好会へと広がり、約3時間に及ぶ宴会も一瞬の内に終わったという感じでした。最後はいつものように全員で「若き血」を合唱して再開を約束し閉会いたしました。 次回の忘年会からは更に多くの参加者を募り、親睦の実を上げたいと思います。多数の参加をお待ち致しております。 副会長 岩吉 外茂治



佐倉三田会設立経過

平成10年~	塾員数、設立の要望あるかなど、情報収集
12年3月29日	「蝶や」にて有志6名集まり「佐倉三田会設立」に向け行動することを決定する。
12年7月8日	ウィシュトンホテルにて「設立準備総会」開催 70名をこえる出席を得、全員の賛成により「佐倉三田会」がスタートする
13年3月8日	連合三田会に登録
13年7月1日	ウィシュトンホテルにて「佐倉三田会設立総会」
13年8月4日	印旛沼国際花火大会に協賛
13年9月28日	「ゴルフ愛好会」誕生 第1回ゴルフコンペ開催
13年11月22日	有志による忘年会 「蝶や」にて
14年3月29日	第2回ゴルフコンペ開催
14年7月7日	佐倉三田会定例総会及び懇親会 開催予定

創立総会

慶應義塾から笹島恒輔名誉教授、元慶応評議員 島田光男様及び佐倉稲門会から中村様を来賓としてお迎えし創立総会が開催されました。

日時 2001年7月1日(日) 4:00~

場所 ウィシュトンホテル・ユウカリ

参加 57名

一部 会は塾歌斉唱で始まり、代表幹事より三田会設立経過、今後の活動方針などの報告があり、続いてご来賓の笹島名誉教授及び稲門会代表からご挨拶を頂戴しました。最後に早稲田大学にエールを送り一部が終了しました。

二部 元評議員島田様より乾杯のご挨拶を頂き、しばらく談笑しました。司会者より、「佐倉市で塾員が一番多く居住するのはどの地区か?」「佐倉三田会の女性の人数は?」「学部別に一番多いのは?」等のクイズがあり、勝ち残った方に連合三田会大会の福引抽選券を差し上げました。

中締めは大先輩である加藤桂樹様よりご挨拶と若き溢れる詩吟をご披露頂き、全員による「若き血」を合唱し、散会となりました。

代表幹事 新保 雅義

ゴルフ愛好会の紹介

2001年7月の総会で、ゴルフ愛好会設立が提案され賛同者の参加を得て、9月28日(金)習志野C.C.において第1回ゴルフコンペを開催しました。同日 会の運営の基準となる会則及び役員を定めました。

3月29日(金)には佐倉C.C.にて第2回ゴルフコンペが開催され、2度のコンペで20名の方が参加されています。本会は会員相互の親睦を図ることを第一とし、スコアの良し悪しは別にして暫しの間 仕事を離れ、若き血に燃ゆる塾生の気概を失わず、元気にフェアウェイを歩く喜びをかみしめつつ、楽しく一日を過ごそうというのが目的です。佐倉三田会とともに本会もますます発展していくことを強く願うとともに、皆様のご参加を心からお待ちしております。

ゴルフ愛好会会長 大木 利之助

第1回 9/28 習志野 CC

優勝 高橋 保夫 (41年卒)

BG 大木利之助 (32年卒)

第2回 3/29 佐倉 CC

優勝 橋本 政彦 (41年卒)

BG 下山 博 (35年卒)



私のボランティア活動

1997年退職、新田井田、通称鳳翔団地に住んでおります。現在は大きな社会システムの変革期であり、また先輩について戦後の廃墟の復興に従事し、世界2位の経済力を得るに至り、当時想像だにし得ない繁栄、富裕を勝ち取ったこの社会も色々な面で病んで来ています。従って再度社会に貢献、今度は居住地域に還元したいと思っており、殆ど新住民と都心通勤者で構成されるこの街で、地域づくりを基点としたボランティア活動を行っております。一緒にやりませんか?現在広大な市南部の小篠塚で谷津田の復元、整備活動を4月から行っています。当初は近隣小学校の授業として、将来は復元・整備を中核とした健康と仲間づくりの場、老人のデイケアや不登校児、引きこもり青年の回復の場、農家の農作物産直の場、環境研修を含む環境観光の地場ビジネスの場ともしたいと思っております。 また老人対象の地場ビジネスも企画しております。 三田会で佐倉市に貢献し仲間の輪を広げましょう。

高木 晋 (36年卒) TEL/FAX 461-6585

佐倉三田会創立記念
ダークダックスコンサート
2002年9月23日(祝) 15時開演
佐倉市民音楽ホール
全席自由 4,000円



ダークダックスコンサート開催について

佐倉三田会創立を記念して、平成14年9月23日(祝日)に慶応大学の先輩であるダークダックスの皆さんによるコンサートを行うことになりました。この事業は佐倉三田会と佐倉市の共催によるものです。今からおよそ15年前佐倉市民音楽ホールが出来たのころ、ダークのコンサートがあり、私は彼らを楽屋に訪ねました。(ワグネルンサイティ男声合唱団の後輩ということで、会っていただくことができました。)

その時以来、いつの日か再び彼らを佐倉にお招きしたいと思っておりましたが、漸くその日が訪れ喜びに耐えられません。三田会の皆様に喜んで頂ければと思い、他の幹事の方々と様々な事務処理にあたっております。是非コンサートを成功させたいと思っております。是非コンサートを成功させたいと思っております。是非コンサートを成功させたいと思っております。

ダークダックスについてはいまさら紹介の必要はないと思います。1951年12月24日結成、2000年に結成50周年記念リサイタルを北海道から沖縄まで全国各地で行いました。

最後に、当時音楽ホール建設に関わった佐倉市教育委員会文化課課長の田村様に音楽ホール結成直後行われたダークコンサートについての思いをよせて頂きましたので、ここに掲載させていただきます。 幹事 檀谷 正彦

楽しみなダークとの再会

昭和59年11月 佐倉市民音楽ホールが開館し、音楽を愛する市民にとって永年の夢がかなえられました。当時は国立歴史民族博物館の開館から間もなく、相次ぐ文化施設の誕生は歴史の町佐倉に新たな息吹をかんじさせるものでした。市民音楽ホールが目指したのは、本物の音楽を通じて子供達の感性を磨くと同時に市民の日常生活に潤いを提供することでした。

ダークダックスが登場したのは昭和63年11月、琴線にふれるハーモニーは絶妙でした。私事ですが、雪国育ちの私が小学校6年生時分のこと、凍えるように寒い我が家の台所で母が仕事をしながら、「北上夜曲」やはやりたの「山男の歌」を口ずさんでいた日を思い出します。その母は間もなく亡くなりました。多分大好きだった「ダークの歌」を携えての旅立ちだったのでしょうか。一時期少年合唱団にいた私にとってダークダックスはコーラスの魅力を受けてくれた心の師でした。高校に進んだ頃、「銀色の道」が大ヒットしていました。うまく表現できませんが、源氏物語や徒然草にでてくる「おもしろし」に似て、趣があって興をそそる音の束となって耳に届くのです。何よりも一人ではなし得ない、男声の重唱特有の魔力が蓄んでいるからに違いありません。若者たちの嗜好の違いか日本音楽は 歌詞、メロディーそしてリズム、果てはハーモニーまで様変わりしました。いつまでも変わらぬダークダックスと改修なった市民音楽ホールで再会できるのはうれしい限りです。

佐倉市教育委員会 文化課課長 田村言行